「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	空調室外機の放熱環境改善 （遮熱、散水等）	シート番号	A11121
システム・設備	空調システム	6 類型	部分更新・機能付加
削減余地順位	全体：34 位　産業部門：48 位　業務部門：29 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　▶ 削減余地の大きい 5 業種(診断件数 20 以上)

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	85 社会保険等の事業	25~31 機械工業	58 飲食料品小売業	83 医療業
削減余地 [千 t-CO_2]	919	151	768	217	108	53	45	42
診断件数	3,303	1,216	2,087	46	484	127	102	179
診断時提案数	604	117	487	7	132	17	28	62
診断時提案率	18[%]	10[%]	23[%]	15[%]	27[%]	13[%]	27[%]	35[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	85 社会保険等の事業	25~31 機械工業	58 飲食料品小売業	83 医療業
事業報告書提案数	525	100	425	7	125	15	27	52
事業報告書実施数	40	10	30	2	9	3	1	2
事業報告書実施率	8[%]	10[%]	7[%]	29[%]	7[%]	20[%]	4[%]	4[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	5.8	1.9	0.04	1.9
	導入コスト	[千円]	2,617	1,000	0	841
	運転コスト削減	[千円/年]	293.9	47.0	1.7	71.2
	投資回収年数	[年]	62.5	11.4	0.0	16.3
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	2.4	0.3	0.057	0.5

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	8	「初期費用が安かったため」を挙げた事業所が実施した主な対策は室外機の遮光である。
	補助金を活用できたため	0	
	投資回収年数が短いため	0	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	8	
	その他　（無回答を含まず）	1	
未実施理由	初期費用が高かったため	91	「初期費用が高かったため」の対象は、室外機に散水装置や噴霧装置を設置する提案である。 「提案された設備の機能や運用に懸念」の理由としては、屋上への給水能力不足、排水能力等が挙げられている。
	提案された設備の機能や運用に懸念	12	
	補助金を活用できなかったため	9	
	投資回収年数が長かったため	24	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	22	
	既存設備がまだ使えたため	2	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	6	
	その他　（無回答を含まず）	47	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	○
2	11316	冷暖房設定温度・湿度の緩和	○

※ 特記事項

実施された対策について(表 3)

(1) 導入コストの最大例では、空調室外機に水噴霧装置を設置することを提案し実施された。導入コストの最小例では、室外機の向きを変えることによる空気の流れのショートサーキットの解消、室外機へのよしず掛け、室外機前面の障害物除去等を提案し実施された。

(2) 運転コスト削減の最大例は、空調室外機に遮熱ネットを設置して夏期の日中の凝集器の高圧回避運転を解消する提案である。